



# 2022 ANNUAL REPORT

## 大阪医科薬科大学病院 アレルギーセンター

大阪府高槻市大学町 2-7

Tel : 072-683-1221

e-mail : [allergy\\_center@ompu.ac.jp](mailto:allergy_center@ompu.ac.jp)

[https://hospital.ompu.ac.jp/departments/allergic\\_disease\\_center/](https://hospital.ompu.ac.jp/departments/allergic_disease_center/)



# アレルギーセンター Annual report

## 2022 年度版作成にあたって

2021 年 11 月に、大阪医科薬科大学病院にアレルギーセンターが発足し、1 年余りが経過しました。アレルギーセンターの活動を皆さまに知っていただきたいという思いで 2022 年度の活動内容をまとめた Annual report を作成いたしました。

多診療科、多職種での横断的診療体系の構築と地域医療従事者、市民の皆さまに対する情報発信、このふたつのテーマをセンター活動の目標としております。

> アレルギー総合診：多診療科にまたがる多臓器アレルギー疾患をお持ちの患者さんに対し、水曜日の午後に各科の診療、生理学的検査を行えるようにしました。受診時間を同一の曜日と時間帯に集約することで患者さんの利便性も重要ですが、それ以上に各診療科での密な情報交換を行ったうえでの横断的診療が可能になったことに意義があると思われまます。

ただ、この総合診への直接のご紹介は受けておらず、まず主となる症状の診療科にご紹介いただき、各科での複合的診察が必要であると判断した場合に総合診に予約させていただいています。もちろん、ご紹介時にアレルギー総合診受診希望と明記していただければ、ご意向に沿う形で総合診受診を調整させていただきます。

> 研究会、市民公開講座：テーマ別に、1 年に 3 回の講演会を行い情報発信しています。3 月には横断的診療体系の構築をテーマにした講演会を行っています。医師、看護師、薬剤師、栄養管理士、臨床検査技師の文字通りの多職種対象の講演会です。8 月には市民対象の講演会を行っています。座学だけではなく、スキンケア、吸入指導などの実地講習も適宜加えていきたいと考えています。11 月には地域医療従事者対象の講演会を行い、アレルギー分野のトピックスに関する情報発信を行っています。その他、不定期ですが、学童、または教職者対象の食物アレルギーに関する出張講義もセンターにて複数回行っております。

> 研究助成金：初年度は、下記の二つのテーマで獲得しました。助成金を使用して、アレルギーセンターにおける臨床研究を開始しております。

- ・医薬品アレルギー情報の共有システム構築のためのアンメットニーズに関する調査
- ・エクソソームを用いたスギ花粉症に対する免疫療法の可能性

> 教科書の執筆：ある雑誌社からお受けしており、現在センター委員を中心として執筆を行っています。皆さまのアレルギー分野診療のお役に立つような教科書の完成を目指しています。

大学病院内外の皆さま、そしてなによりも市民の皆さまとともに成長していきたいと考えています。今後とも、アレルギーセンターをよろしくごお願い申し上げます。

2023 年 2 月 28 日

大阪医科薬科大学病院 アレルギーセンター長 寺田 哲也

## 目次

- Pg. 2 センター運営委員一覧
- Pg. 3 受診方法の構築に関して
- Pg. 5 研究助成 獲得状況
- Pg. 6 CAI 資格取得者報告
- Pg. 7 研修会開催報告
- Pg. 9 研修会開催予定 (2023 年)
- Pg. 10 研究発表報告
- Pg. 11 論文業績報告 (2022 年)
- Pg. 12 論文業績報告 (2021 年)
- Pg. 13 受賞報告
- Pg. 14 メディア活動報告

# 大阪医科薬科大学病院 アレルギーセンター センター運営委員一覧



2022年12月現在

所属	職種	役職	氏名
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	医師	センター長	寺田 哲也
呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科	医師	副センター長	池田 宗一郎
皮膚科	医師	副センター長	福永 淳
小児科	医師	助教	大関 ゆか
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	医師	助教	菊岡 祐介
呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科	医師	助教	中村 敬彦
歯科口腔外科	医師	助教	山本 佳代子
皮膚科	医師	講師（准）	金田 一真
眼科	医師	講師（准）	田尻 健介
小児科	医師	非常勤	岡本 奈美
中央検査部	臨床検査技師	技師長	田中 恵美子
65 病棟	看護師	看護副師長	水島 道代
栄養課	管理栄養士	担当主任	尾籠 賢
薬剤課	薬剤師	主任	濱田 武
医事課	事務	課長補佐	近都 貴志
庶務課	事務	課長	落合 英伸
患者サービス課	事務	副参事	辻 誠司
広域医療連携センター	事務	課長	中谷 尚文
医療連携室	事務		益倉 久実

# 大阪医科薬科大学病院 アレルギーセンター 受診方法に関して



## 概要

当センターでは、多臓器/多領域にわたる疾患および重症例のアレルギー疾患に対して、診療科横断的検査および治療を集約し対応しております。2021年11月のセンター開設以降、患者さんがスムーズに受診でき、適切かつ迅速に診療を提供できるシステム作りを行っております。当センター宛にかかりつけ医からのFAX紹介申込書を頂くために、当センター ホームページ内で申込み方法の案内も掲載しております。

- ① 希望医師の欄に「アレルギーセンター」と記入
- ② 診療科名の欄に5科の中で主となる症状の診療科に「○」
- ③ 予約情報、患者さま情報、貴医療機関情報などの  
その他、必要事項を記入
- ④ 診療情報提供書と共にFAX送信

大阪医科薬科大学病院 FAX紹介申込書

診療科名の欄に  
□の中で主となる症状の診療科  
に「○」

希望医師の欄に  
アレルギーセンターと記入

希望医師: アレルギーセンター 医師: 高橋 尚士 連絡: 済・無

第1希望: 令和 年 月 日 ( )  
第2希望: 令和 年 月 日 ( )  
第3希望: 令和 年 月 日 ( )  
不都合な日: ( )

〒セカンドオピニオンは専用申込書(ホームページよりダウンロード)にてお申込みください。

フリガナ: 姓 名 大崎 隆夫 先生 有・無  
氏 名 大崎 隆夫 先生 (ID: )  
生年月日: 大・昭・平・令 年 月 日 生 ( 歳 )  
住 所 平  
電話番号 (宅) (明)  
A D L □聴く □聴いす □聴かせ(聴取方法)  
備考欄の状況 □外来患者 → 来院で済ませますか はい・いいえ  
□入院患者 → □退院後受診希望 → 予定日( )  
□入院中の受診希望 → 来院方法( )  
保険情報 下記に記入していただくが、保険証明のコピーをFAXしてください。  
保険者番号 公費負担者番号  
配属・部署 公費負担者番号  
納 税 本人・家族 公費負担者番号 1割・2割・3割  
施設情報 □生保 □共保 □第三者行為 □交通事故  
切替いはず ※第二受診済、交通事故の一環では行っておりません。  
医療機関名  
住 所  
電 話 番 号  
F A X 番 号  
科 先生  
科 先生

以下当院記入欄  
紹 介 者 姓 名  
再

### アレルギーセンター受診希望の方へ

かかりつけ医からの予約制です。

患者様から、かかりつけ医に「アレルギーセンター受診希望」とお伝えください。

### 受診の流れ

#### かかりつけ医からの紹介

FAX紹介申込書の希望医師の欄に「アレルギーセンター」と記載のうえ、主となる症状の診療科にお申込みください。

医療連携室へFAX申込みし予約取得

#### 対応する各診療科を受診

センター内で情報を共有し、診療科の垣根を超えた原因究明を行います。

各診療科での診療を継続

総合アレルギー外来(水曜日 午後)受診

# 大阪医科薬科大学病院 アレルギーセンター 受診に関して



初診は、主たる症状に対応する各診療科のアレルギーを専門とする医師の外来へ受診いただきます。

① 重症のアレルギー疾患 ②多臓器にわたるアレルギー疾患 ③患者本人の受診希望 を満たし、

初診医がアレルギーセンター内で包括的な精査および加療が必要と判断した場合は「アレルギーセンター総合診」で対応を行います。総合診は水曜日午後に複数の診療科での対応が行える体制としております。

## 外来担当表

診療科名	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
呼吸器内科・ 呼吸器腫瘍内科				池田 宗一郎 (第3 午後)	中村 敬彦 (第1 午後)
小児科			大関 ゆか (午後)		
眼科	田尻 健介 (午前)	吉川 大和 (午前)	田尻 健介 (午前)	吉川 大和 (午前)	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科			寺田 哲也 菊岡 祐介 (午前)		
皮膚科					福永 淳 金田 一真 (午前)
アレルギー センター総合診			◎ (午前) ※初診不可		

診療科名	アレルギーセンター総合診 担当医
呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科	中村 敬彦
小児科	大関 ゆか
眼科	田尻 健介、吉川 大和、向井 規子
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	寺田 哲也、菊岡 祐介

2022 年度

田辺三菱製薬

¥200,000-

「医薬品アレルギー情報の共有システム構築のためのアンメットニーズに関する調査」

医薬品アレルギーへの対応・対策として、「患者の薬剤アレルギー情報を把握し共有できるシステムの構築」が重要とされている。情報を一元化して医療機関同士で共有できるようになれば、薬剤アレルギーを有する患者への薬剤投与防止し、診察時に薬剤アレルギー情報の再聴取が不要となり医療従事者の業務過多の軽減をはかり、さらに医薬品を安全に使用できるようになるといった多数のメリットがある。医薬品アレルギーの情報共有システムの構築を目指し、現状で医療従事者、患者、薬局における医薬品アレルギーに関するアンメットニーズを調査する。

申請者：大関 ゆか

第一三共 奨学寄付プログラム

¥500,000-

「エクソソームを用いたスギ花粉症に対する免疫療法の可能性」

これまで、私たちは制御性 T 細胞やインターロイキン 10 (IL-10) を効率よく産生する Tr1 細胞の誘導がスギ花粉症に対する抗原特異的免疫療法の効果発現に重要であることを明らかにした。しかし、その抗原特異的免疫療法の治療効果は充分とは言えず、また効果予測のバイオマーカーも明確ではない。本研究では、細胞間情報伝達機構に深く関わっているエクソソームが、自然リンパ球 2 型 (ILC2) を介する 2 型サイトカインの産生を抑制することを明らかにし、エクソソームにより、免疫療法の治療効果を上昇させることで臨床応用への展開を目指している。具体的には免疫療法の効果良好な患者の血液中、唾液中エクソソームを採取、精製し、ILC2 から産生される 2 型サイトカインに及ぼすエクソソームの影響を検討する。また、エクソソーム由来の形質転換因子 (mRNA, miRNA) の免疫抑制効果に及ぼす影響を明らかにできれば、治療効果の上昇や、治療期間の短縮が期待できる。

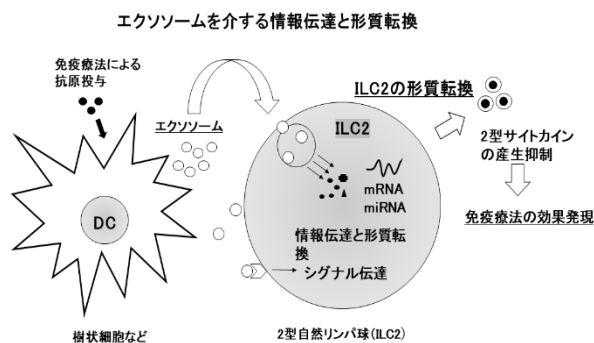


図2 抗原特異的免疫療法におけるエクソソームの役割

申請者：寺田 哲也

2022 年 12 月現在



アレルギー疾患の治療や管理に関する専門知識を有し、患者さんや家族への指導スキルを兼ね備えたコメディカルスタッフの認定制度である、CAI(アレルギー疾患療養指導士)資格の取得を当センターでは推進しております。2022年は、当院のスタッフ5名が新規に資格を取得いたしました。

### 看護部

---

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 外来 生地 知美

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 外来 山口 睦美

### 栄養部

---

尾籠 賢

西田 豊美

### 薬剤部

---

居藤 亜弥

参考 : 一般社団法人 日本アレルギー疾患療養指導士認定機構 ホームページ



診療

診療科横断的



教育

医療者・一般の方・教育関係者

## 概要

当センターでは、多臓器/多領域にわたる疾患および重症例のアレルギー疾患に対して、診療科横断的検査および治療を集約し対応しております。また、市民の方・教育関係者および医療従事者を対象とした講習会も充実させております。2022年は計4回の講習会を開催させていただきました。

## 研修会に関する報告 (市民対象)

2022年8月6日 (Hybrid開催：大阪医科薬科大学 看護学部講堂、zoom)

### 第1回 OMPU アレルギーセンター市民公開講座

「聞きたい、知りたい、食物アレルギーについて」

総参加者 約100名

2023年8月に第2回 OMPU アレルギーセンター市民公開講座を予定しております

## 研修会に関する報告 (教育関係者対象)

2022年5月30日 (豊中市立第九中学校)

### エピペン研修会

2023年4月に西大和学園中学校・高等学校にて開催を予定しております

## 研修会に関する報告 (医療従事者対象)

2022年3月5日 (大阪医科薬科大学 本部キャンパス 新講義実習棟 P101)

### 大阪医科薬科大学病院 アレルギーセンター 開設記念講演会

総参加者 約60名

2022年11月24日 (Hybrid開催：大阪医科薬科大学 本部キャンパス 新講義実習棟 P301、zoom)

### 第1回 北摂総合アレルギー研究会

総参加者 約70名

大阪医科薬科大学病院 アレルギーセンター開設記念講演会  
第1回OMPUアレルギーセンター講演会

2021年11月1日に大阪医科薬科大学病院 アレルギーセンターが開設されました。  
当センターでは、診療科の垣根を越え、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師などの多職種連携により、様々なアレルギー疾患に対応してまいります。  
このたび、下記の通りの開設記念講演会を開催いたします。  
医師以外にも、看護師、薬剤師、管理栄養士の方々を主な対象とした、多職種連携や認定制度に関する内容となっております。是非、ご参加の程宜しくお願い申し上げます。

**演題 「アレルギー領域における多職種連携システム構築について」**  
講師 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪びきの医療センター  
小児科主任部長 亀田 誠 先生  
座長 大阪医科薬科大学 小児科学教室 芦田 明 教授

**演題 「アレルギー診療をサポートするメディカルスタッフの制度、CAI、PAEについて」**  
講師 社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大阪府済生会中津病院  
PAE認定看護師 林 奈津子 様  
座長 大阪医科薬科大学病院 病院看護部 水島道代 副部長

**日時 2022年3月5日 (土) 14:00~**  
**会場 大阪医科薬科大学 本部キャンパス  
新講義実習棟1階 P101**  
※オンラインでもご聴講いただけます。オンラインでの視聴をご希望の方は、本誌裏面をご確認の上、事前登録をお願いいたします。

開会挨拶：大阪医科薬科大学病院 南 敏明 病院長  
閉会挨拶：大阪医科薬科大学病院 寺田哲也 アレルギーセンター長  
司会：大阪医科薬科大学病院 小児科学教室 大関ゆか 助教

**主催：大阪医科薬科大学病院 アレルギーセンター**  
お問い合わせ：大阪医科薬科大学病院 広域医療連携センター 医療連携室  
〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7 TEL：072-683-1221(代表)

聞きたい、**食物アレルギー** 知りたい、**について**

●参加費：無料 ●事前申込：必要 ●会場定員：先着 150名

**日時** 令和4年8月6日(土)  
14:00~16:00【受付開始 13:30】

**会場** 大阪医科薬科大学 看護学部講堂  
(オンラインでも配信します。申込方法等、詳しくは裏面をご参照ください。)

**プログラム**

- 開会の挨拶  
大阪医科薬科大学 小児科学教室 教授 芦田 明
- 講演1「気になる食物アレルギー、最近の傾向と対策」  
大阪医科薬科大学 小児科学教室 助教 大関 ゆか
- 講演2「みんなで知ろう、日常で役立つ食品表示の見方」  
大阪医科薬科大学病院 栄養課 管理栄養士 担当主任 尾籠 賢
- 講演3「緊急時でも慌てない、アレルギー対応について」  
大阪医科薬科大学病院 病院看護部 看護副部長 水島 道代
- 閉会の挨拶  
大阪医科薬科大学病院 アレルギーセンター長 寺田 哲也  
司会 大阪医科薬科大学病院 病院薬剤部 薬剤師 主任 濱田 武

**ご案内** 2021年11月、大阪医科薬科大学病院にアレルギーセンターが設立されました。当センターの目的は、地域医療への貢献に他なりません。『アレルギーに優しい街、高槻』を目指しましょう！この度、念願の第一回市民公開講座を開催することになりました。今回は、食物アレルギーをテーマに予定しております。食物アレルギーをお持ちの患者さまやご家族さま、学校や施設の職員さま、それ以外にも食物アレルギーに関心のある方はどなたでも参加いただけます。ご自宅でも会場でもご視聴いただけるようにハイブリッド形式で行う予定です。また、事前に質問を受け付けますので、参加申込時に記入ください。

**主催 大阪医科薬科大学病院 アレルギーセンター**  
**後援 高槻市 高槻市医師会**  
お問い合わせは、下記のメールにてお願いいたします。  
allergy\_center@ompu.ac.jp

第1回北摂総合アレルギー研究会

この度「第1回北摂総合アレルギー研究会」を下記要領にて開催させて頂き重宝となりました。  
ご多忙中のこと存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

**日時 2022年11月24日 (木) 18:30~**  
**形式 Hybrid開催**  
**会場 大阪医科薬科大学 本部キャンパス  
新講義実習棟3階 P301**

現地聴講：<https://forms.gle/sbzkqXKsrZyVkeXP7>  
現地聴講は感染対策を鑑み、【先着40名】とさせていただきます。

WEB聴講：[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_kLTGvNcZQJcNp511ftbtg](https://zoom.us/webinar/register/WN_kLTGvNcZQJcNp511ftbtg)  
\*裏面のお申込み手順をご参考に、事前お申込みをお願いいたします。  
\*当特別講演は、アレルギー学会専門医単位に申請予定です。



開会挨拶：副センター長 池田 宗一郎 先生  
閉会挨拶：センター長 寺田 哲也 先生

18:30~  
情報提供 気管支喘息治療剤 フルティフォームについて 杏林製薬株式会社

18:40~19:00  
**一般講演 「ガイドラインでみる喘息診療の医療連携」**  
講師 大阪医科薬科大学病院 呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科 中村 敬彦 先生  
座長 大阪医科薬科大学病院 呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科 池田 宗一郎 先生

19:00~20:00  
**特別講演 「医療連携を利用した喘息長期管理Up To Date」**  
講師 北野病院 呼吸器内科 部長 丸毛 聡 先生  
座長 大阪医科薬科大学病院 呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科 中村 敬彦 先生

**共催：大阪医科薬科大学病院 アレルギーセンター  
杏林製薬株式会社**  
お問い合わせ：大阪医科薬科大学病院  
〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7 TEL：072-683-1221(代表)



(2023年の予定)

市民対象

2023年2月1日~2023年2月28日オンライン配信

<https://www.youtube.com/watch?v=ccHs5DWWWhdA>

第2回大阪医科薬科大学薬学部 市民講座

「『アレルギーにやさしい街 たかつき』

: お子さまからお年寄り、市民の皆さんにとって」



2023年8月5日 (Hybrid開催: 大阪医科薬科大学 看護学部講堂、zoom)

第2回 OMPU アレルギーセンター市民公開講座

「明日から実践できる 一緒に実践する スキンケアのウソと本当」



教育関係者対象

2023年4月20日 (西大和学園中学校・高等学校)

エピペン研修会

医療従事者対象

2023年3月11日 (高槻現代劇場)

第2回 北摂総合アレルギー研究会

特別講演: 櫻井 大樹先生 (山梨大学 アレルギーセンター長)

中丸 裕爾先生 (北海道大学 アレルギーセンター長)



2023年11月 (詳細未定)

第3回 北摂総合アレルギー研究会

2023年11月26日 (大阪国際会議場)

第10回 日本アレルギー学会近畿地方部会 主催

## 概要

当センターでは、各診療科での研究発表に加えて、アレルギーセンターとしての研究発表も推進し、各学会や研究会でのアレルギーに関する研究成果報告を行っております。

---

2022 年 7 月 2 日 (Hybrid 開催：TKP ガーデンシティ PREMIUM 心斎橋、zoom)

### 第 88 回 臨床アレルギー研究会 (関西)

- 菊岡 祐介,他 「難治性好酸球性副鼻腔炎に対する抗体薬治療：嗅覚障害を中心に」
- 中村 敬彦 「抗体製剤を投与した喘息症例における 2 型バイオマーカーの後方視的な検討」
- 福永 淳, 他 「ダニ舌下アレルゲン免疫療法の通年性アレルギー性鼻炎を合併するアトピー性皮膚炎に対する有効性の検討」

---

2022 年 10 月 23 日 (Hybrid 開催：大阪国際交流センター、zoom)

### 第 8 回日本アレルギー学会近畿地方会

- 寺田 哲也,他 「シンポジウム 4 上気道 Type2 炎症性疾患の治療目標」
- 金田 一真,他 「ウパダシチニブが奏功した円形脱毛症の 2 例」
- 菊岡 祐介,他 「難治性好酸球性副鼻腔炎に対する抗体薬治療：嗅覚障害を中心に」
- 中村 敬彦,他 「抗体製剤を投与した喘息症例における Type2 バイオマーカーの後方視的な検討」

邦文

1. **寺田哲也**. 【見逃さない!鼻の痛み・つまりに潜む疾患】. 日本医事新報(0385-9215)5109号 Page18-29(2022.03)
2. **寺田哲也**. 将来新たに期待される治療—アレルギー性鼻炎に対する新しい治療戦略アレルギーの臨床. 北隆館 2022 42(13) 1011-1015
3. **福永 淳**. 遺伝性血管性浮腫(HAE)における最近の話題 WAO/EAACIのHAEガイドライン改訂のポイントと治療の進歩について. 日本小児皮膚科学会雑誌. 2022;41(2):126-132
4. **福永 淳**, 織田 好子. 【慢性蕁麻疹 up-to-date】特発性慢性蕁麻疹の病態生理(解説). 臨床免疫・アレルギー科. 2022;78(3):245-251
5. **福永 淳**. 【かゆみ診療に必要な最新の知識】かゆみと疾患 蕁麻疹. 臨床と研究. 2022;99(3):311-316
6. **福永 淳**. 日常診療に潜む発汗異常症をどう疑いどう対応する?. 日本臨床皮膚科医会雑誌. 2022;39(1):67-69

英文

1. **Terada T**, Kawata R. Alternatives to subcutaneous immunotherapy for the allergic rhinitis. MDPI: Allergies, 2022;2:23-32.
2. **Terada T**, Kawata R. Diagnosis and Treatment of Local Allergic Rhinitis. Pathogens. 2022;11(1):80.
3. **Fukunaga A**, Fukushima S, Iwata H, Nakahara M, Sasaki R, Baba N, Matsunaka H, Murakami Y, Furue M, Nishigori C. Bioactive substances in the stratum corneum of the epidermis found as indicators of skin damage due to sun exposure. Photodermatol Photoimmunol Photomed. 2022;38:241-249.



## 業績報告 (2021 年)

### 邦文

1. **寺田 哲也**. 【アレルギー性鼻炎の治療:薬物療法 vs 免疫療法】皮下免疫療法. アレルギーの臨. 2021; 41 (3) : 207-211.
2. 松田将也, **寺田 哲也**, 北谷和之, 河田 了, 奈邊 健. 舌下免疫療法の効果発現における制御性 T 細胞の役割. 日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会誌. 2021; 1 (1) : 21-26.
3. **金田 一真**, 黒川 晃夫, 森脇 真一, 古川 福実. Narrow-band UVB 療法が奏効した急性痘瘡状苔癬状秕糠疹の小児例. 日本小児皮膚科学会雑誌. 2021; 40 (1) : 63-69.
4. **福永 淳**. 総説 Mast cell activation syndrome の概念の拡がり. Allos Ergon. 2021; 1 (3) : 356-362
5. **福永 淳**. 慢性蕁麻疹の治療と病態解明の進歩. アレルギー. 2021; 70 (10) : 1363-1370
6. **福永 淳**. 【エキスパートから学ぶ「再発抑制・寛解維持に悩む疾患」】(Part1.)炎症性疾患を中心に (opinion 4-2) 蕁麻疹、とくに特発性慢性蕁麻疹 私の考え方(2). Visual Dermatology. 2021; 20 (11) : 1144-1145
7. **福永 淳**. 無汗症と蕁麻疹の関係. 発汗学. 2021; 27 (2) : 45-51
8. **福永 淳**. 【診察室での患者さんの質問に答えます】急性蕁麻疹 いつ治りますか. 皮膚科の臨床. 2021; 63 (6) : 794-795
9. **福永 淳**. 【どう診る?汗の病気】無汗症の症状 蕁麻疹について. Derma.. 2021; 309 : 31-36
10. **福永 淳**. 【外来で出会うアレルギー疾患-Total Allergist 入門】押さえておくべきアレルギー疾患の基本 慢性蕁麻疹の診断と治療. Medicina.. 2021; 58(2) : 229-233

### 英文

1. **Terada T**, Matsuda M, Inaba M, Hamaguchi J, Takemoto N, **Kikuoka Y**, Inaka Y, Sakae H, Hashimoto K, Shimora H, Kitatani K, Kawata R, Nabe T. Sublingual immunotherapy for 4 years increased the number of Foxp3+ Treg cells, which correlated with clinical effects. Inflamm Res. 2021;70(5):581-589.
2. **Terada T**, Inui T, Moriyama K, Noro K, **Kikuoka Y**, Omura S, Suzuki M, Kawata R. Effects of endoscopic sinus surgery for eosinophilic chronic rhinosinusitis on respiratory functions and FeNO production in the lower respiratory tract. ENT J. 2021:1455613211032006..

## 受賞報告 (2022年)

### 第88回 臨床アレルギー研究会 (関西) 優秀賞 菊岡 祐介

2022年7月2日に開催された第88回臨床アレルギー研究会 (関西) において菊岡 祐介先生が優秀賞を受賞しました。今回の発表では難治性好酸球性副鼻腔炎に対する抗体薬治療による嗅覚改善効果に関して報告しました。





## Web 媒体

「東洋経済オンライン」に、寺田 哲也 センター長が掲載されました。

- 2022 年 12 月 21 日 東洋経済オンライン <https://toyokeizai.net/articles/-/637628>

寺田 哲也 : 【鼻づまり】長引くグズグズ「副鼻腔炎」が原因？



- 2022 年 12 月 21 日 東洋経済オンライン <https://toyokeizai.net/articles/-/637629>

寺田 哲也 : 【治らない副鼻腔炎】実は指定難病、嗅覚低下も



## 大阪医科薬科大学医師会会報

第 58 号 (2022 年 9 月) 3~17 頁に 特集：座談会「アレルギーセンター」 が掲載されました。

## 大阪医科薬科大学病院 MIZUKI

第 48 号 (2022 年 1 月) 特集：アレルギーセンター始動 が掲載されました。



## (2023 年の予定)

- 「2023 年 2 月 23 日 読売新聞 夕刊」に、福永 淳 副センター長の記事が掲載されました。

「テーマ：大人の食物アレルギー」

- 第 50 号 (2023 年 1 月) 大阪医科薬科大学病院 MIZUKI

アレルギーセンター始動後 1 年間の成果報告として TOPICS が掲載されました。

- 日本医事新報社より書籍発刊予定です。(当アレルギーセンター委員の共同執筆)

『Jmedmook』 ジェネラリストが行うアレルギー診療—Total allergist 的診療の手引き (仮)

大阪医科薬科大学病院 アレルギーセンター

「Annual Report 2022」

2023年2月28日発行

発行人 寺田 哲也

編集人 菊岡 祐介

編集 大阪医科薬科大学病院 アレルギーセンター

発行 大阪医科薬科大学病院 アレルギーセンター